

バズれ阿武急 続々妙案

専門学校生、角田市役所でプレゼン



阿武急の利用促進策を黒須市長や富田社長らにプレゼンする生徒たち

東京ITプログラミング
&会計専門学校仙台校(仙
台市)の生徒が1月31日、
第三セクター鉄道阿武急
行(福島県伊達市)の利用
促進策を角田市役所でプレ
ゼンテーションした。黒
須市長や阿武急の富田政
則社長らにユニークで実

鉄道の足元
@東北

実践的なアイデアを提案し
た。

鉄道・交通系コース2年
の23人が5グループに分か
れて登壇。観光列車や交流

サイト(SNS)活用を通
じた知名度向上や駅を中心
とした循環バスによる2次
交通の拡充、QRコードの
乗車券導入で利便性確保を
図ることなどを発表した。

市長自らユーチューバー
になることや、宇宙航空研
究開発機構(JAXA)施
設があることから「宇宙人
駅長を置く」といった提案
も出された。いずれも他鉄
道の事例やコスト面まで考
えられた具体的な内容とな
った。

黒須市長は「若い人のア
イデアは素晴らしい。よく
考察されており、ぜひ活用
したい」、富田社長は「課
題が的確に捉えられ、解決
のアプローチを教えてもら
えた」とそれぞれ講評した。

人気アニメとのコラボイ
ベントを発表した上森合真
聖さん(20)は「鉄道は人が
生活する中で重要。実現性
のある提案を考えるのは難
しかったが、角田市を全国
に広めたいとの思いでプレ
ゼンに臨んだ」と話した。